

全行員のデジタルスキル向上を図り

“お客さまのデジタル化推進”をサポートします

～NTTデータの“デジタルナレッジサイト”を活用～



京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、NTTデータが当行含む地銀共同センター参加行向けに提供するデジタルナレッジサイトを活用し、全行員のデジタルスキル向上に取り組んでまいります。

当行は、地銀共同センター参加行とともに、システム分野はもとより、人材育成等のシステム以外の分野においても各行共通の課題解決に取り組んでいくこととしており、デジタルナレッジサイトの共同活用による人材の育成は、その取り組みの第1弾となるものです。

当行では、これまで進めてきた“業務のデジタル化”と“サービスのデジタル化”に加え、今後、お客さまご自身のデジタル化・IT化推進をより積極的にサポートしてまいります。本サイトを活用したデジタルスキル向上により、お客さまに対してデジタル分野も含めたより質の高いコンサルティングサービスを提供してまいります。

記

1. デジタルナレッジサイトの概要

デジタルナレッジサイトは、NTTデータが保有するデジタル関連の動画や資料を通じ、地銀共同センター参加行の全行員がデジタルスキルを学べるプラットフォームです。地銀共同センター参加行の行員（約25,000人）は、いつでもどこでもパソコンだけでなくスマートフォンやタブレットからコンテンツにアクセスし、学習することが可能です。

“デジタル”を切り口としたさまざまなテーマの動画等を、入門編から上級編まで各自の習得度合いに合わせて視聴することで、全行員のデジタルスキルの底上げを図ります。

<デジタルナレッジサイトの掲載動画一例>

タイトル	概要
AI 超入門	AI の概念を紹介
デジタルバンキング	デジタルバンクの潮流と国内外金融機関の最新動向
情報銀行	情報銀行・新しい生活様式
ブロックチェーン	ブロックチェーンとは？ 活用・ビジネス編
クラウドサービス	クラウドサービスとクラウドインフラを支える技術
DX 化、データ活用	デジタルトランスフォーメーションとは、デジタルエンタープライズとデータ活用
RPA、DX 化	RPA を活用し、真に DX を実現するためのメソッドを紹介

地銀共同センター…NTTデータが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。  
※参加行は以下の通り（利用開始および銀行コード順）  
京都銀行、千葉興業銀行、岩手銀行、池田泉州銀行、愛知銀行、福井銀行、青森銀行、秋田銀行、四国銀行、鳥取銀行、西日本シティ銀行、大分銀行、山陰合同銀行

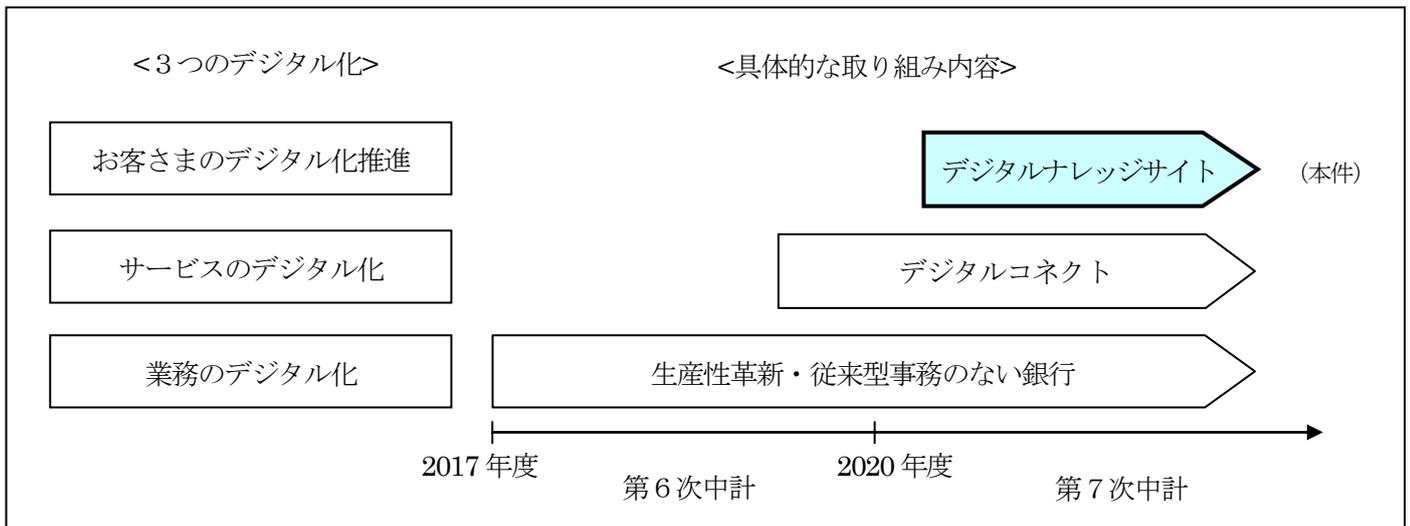
## 2. 当行の目的

現在、コロナ禍によってお客さまのビジネス環境は大きく変化しており、社会のデジタル化は一層加速しております。このような環境変化を踏まえ、今後、当行では、お客さまご自身のデジタル化をサポートすることにより、生産性向上や省力化、ビジネスモデルの転換等のお客さまの課題解決を進めてまいります。

そのために、全行員が本サイトを活用して、デジタルスキル向上に取り組むことで、デジタル分野も含めたコンサルティング営業力の強化を図ってまいります

当行でこれまで取り組んできた、すべてのお客さまとデジタルで繋がる“サービスのデジタル化”と、従来型事務をなくす“業務のデジタル化”に加え、今後、“お客さまのデジタル化推進”をサポートすることで、デジタル化の取り組みをさらにレベルアップしてまいります。

### 【ご参考】当行のデジタル化の取り組みイメージ



以上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

